

比較家族史学会 報 比較家族史 26

事務局 〒101 東京都千代田区神田駿河台1-7 弘文堂気付
郵便振替 [会費] 00130 - 4 - 5222, [雑誌・その他] 00180 - 3 - 604964

比較家族史学会 第二九回研究大会

テーマ 名前と社会

日時 一九九六年六月一日(土)・二日(日)

会場 明治学院大学(東京都港区白金台1-1-1三七)

本館二〇一教室

六月一日(土)午前九時五〇分より

★9:50~10:00 会長あいさつ

★自由報告

*10:00~10:30 明治前期における妾論議の再考

*10:30~11:00 早川紀代氏(フェリス学院大学)

*10:30~11:00 明治維新前後の農民家族の動向

―山梨県下数カ村における家族構成を中心に―

荻原香代子氏

*11:00~11:30 国籍法制定前における「国際結婚」

の諸相

*11:30~12:00 嘉本伊都子氏(総合研究大学院大学)

*11:30~12:00 産婆世界解体プロセスにおける母の

ゆらぎと自己実現呪縛

―一九世紀アメリカ水治療運動の出産言説―

鈴木七美氏(川村学園女子大学)

*12:00~12:30 会員総会

☆昼休み(12:12~13:30)

★テーマ報告

*13:30~14:10 問題提起・名前と社会

上野和男氏(国立歴史民俗博物館)

*14:10~14:45 つくられる名前とくり返される名前

出口 顕氏(島根大学)

*14:45~15:20 前近代の女性の名前と社会

飯沼賢司氏(別府大学)

☆休憩(15:20~15:40)

*15:40~16:15 戸籍制度と名前・近世・近代

井戸田博史氏(帝塚山大学)

*16:15~16:50 韓国の名前と族譜

嶋陸奥彦氏(東北大学)

★懇親会(18:00~)

会場 明治学院大学本館十階大会議室にて

会費 五〇〇〇円

六月二日(日)午前一〇時より

★テーマ報告

*10:00~10:35 中国の名前と輩行制

中勝美氏(和光大学)

*10:35~11:10 アフリカの単系社会と名前

小林伸浩氏(金沢大学)

*11:10~11:45 イヌイットの名前

岸上伸啓氏(国立民族学博物館)

*11:45~12:20 ヨーロッパの名前

小泉 保氏(大阪外国語大学)

☆昼休み(12:20~13:20)

★13:20~17:00 シンポジウム「名前と社会」

運営委員 老川寛(委員長)・上野和男・飯沼賢司・

森謙二・八木透

運営委員会からのお知らせ

- 1 研究大会・懇親会の出欠について、同封のハガキにて、五月二十四日(金)までにお知らせ下さいますようお願いいたします。なお大会参加費は一〇〇〇円、懇親会費は五〇〇〇円です。会員以外の方の参加も歓迎いたします。参加費は当日受け付けにてお支払い下さい。
- 2 研究大会・懇親会の会場は、同封の地図を参照して下さい。
- 3 研究大会の二日目(六月二日)は、昼食の弁当を準備いたします。弁当を希望されます方は、同封のハガキでお申込み下さい。弁当代はひとつ一〇〇〇円程度の予定です。なお六月一日(土)は大学の食堂を利用下さい。
- 4 大会に関するお問い合わせは下記までお願いします。

老川 寛先生

〈問題提起〉「名前と社会」 上野 和男

比較家族史学会では一九八五年六月の第七回研究大会において、「氏をめぐる諸問題」を共通テーマとしてとりあげ、個人の名前のうち、姓(氏・苗字)と呼ばれる問題について、さまざまな研究報告が行なわれました(黒木三郎・村武精一・瀬野精一郎編『家の名・族の名・人の名』氏一、一九八八年参照)。今回は「名前と社会」をテーマとして、名前のうち「名」の部分を中心に、名前と家族・親族などの社会構造と関連など、さまざまな時代、さまざまな社会の名前について、歴史学、法制学、人類学、言語学などの分野から九つの発表をいただきたいと思います。

「名前と社会」をめぐる主要な論点として以下の諸問題が考えられます。

第一に、名前には「くりかえし使われる名前」と「あらたに創造される名前」の二つのタイプが存在することであり、日本社会は姓名とも種類が非常に多く、つきつきに新たな名前が創造されますが、一方、名前の数が限定され、しかも一定の名前のストックが存在する社会も多く、イヌイットやアフリカの社会はその典型をなしております。ヨーロッパ社会もまた、姓名ともきわめて限定された社会の一つと考えられます。このようにそれぞれの社会のもつ名前の種類と数が、社会構造と関連すると考えられます。また、名前の種類については、本名、実

名、仮名、幼名・童名、成人名、嫁名、隠居名、法名、あだ名などの各種の名前の問題があります。

第二に、ジェンダーにかかわる名前の男女差の問題があります。日本では女性名の研究が活発ですが、多くの社会で名前に男女差があり、その差を前提としながらあえて異性名が命名される現象がひろく見られます。名前の男女差は、名前が命名された人間の文化的社会的存在を規定している事実や、名前の宗教学的意義にも関連すると考えられます。

第三に、名前と家族・親族組織、および先祖観念との関連であります。日本の「家名」のように家族のシンボルとしての名前や、アフリカの単系社会のように特定のリニージに規定された名前など、名前が個人が帰属する家族や親族のシンボルとなっている例が多く見られます。また、有力な命名法のひとつとしての祖名継承法は、家族・親族組織や先祖観念と有意に関連しております。

第四に、名前と国家体制、とくに近代国家の国民掌握手段としての名前の問題があります。たとえば、明治国家がつきつきと打ち出した「一人一名主義」「原則改名禁止」「戸籍制度」などの名前政策は、名前の個人特定機能を国家体制として強化するための政策であり、名前は国家体制とも深いかわりをもっております。今回は、これらの論点を含め「名前と社会」について幅広い議論を進めたいと考えます。

4 次回研究大会

日 時 一九九六年六月一日・二日
場 所 明治学院大学
運営委員長 老川 寛

5 一〇周年記念事業

『事典家族』は、一九九六年一月刊行予定（本年二月刊行）
なお同事典の出版記念パーティーを一九九六年三月におこなう予定。（本年三月二八日実施）

6 『比較家族史研究』について

臨時増刊号の刊行は、中止する。

7 『シリーズ比較家族』について

家族と地域社会、家と屋敷地、家と教育は明年春刊行予定。

8 学術会議関連報告

9 その他

・『比較家族史研究』が学術刊行物の指定をうけたことについて。
・文部省の公開促進費の件。

日 時 一九九六年三月二八日
場 所 椿山荘

1 新入会員の承認（別紙参照）

2 春の研究大会の準備状況について

テーマは「名前」とし、運営は上野和男氏を中心とする。運営委員は、飯沼賢司・森謙二・八木透。現在報告者の選定をすすめている。

3 秋の研究大会について

日 時 一九九六年一〇月一九日・二〇日

場 所 別府大学

第一日を、テーマ報告・シンポジウムにあて、テーマは「イエ・クニと女性祭祀」を予定。第二日は、「シャーマニズム・仏教・先祖祭祀の旅」として宇佐・国東半島の各所をバスで見学する。

4 『比較家族史研究』の刊行について

第十号は、近日中に会員に発送予定。次号は、九月入原予定。

5 『シリーズ比較家族』の刊行進捗状況について
『家族と地域社会』、『家・屋敷地と霊・呪術』は三月に刊行済み。『家と教育』は四月刊行予定。第七号「戸籍と身分登録」は本年夏までに刊行を予定。第八号「死者祭祀」は本年秋刊行の予定。第九号「女性史・女性学」、第十号「家族のオートノミー」は原稿依頼中。

6 学術会議関連

7 十周年記念事業について

・『事典家族』を二月に刊行した。本日出版契約を締結。
・印税等の配分については、なお検討する。

8 今後の学会運営の方向について

学会の体制変化によって生じる問題について検討。企画委員は全国に分散しており、委員会の運営、会議をどうやっておこなうか。テーマの選定、会場校の選定等、どうやって決定するのか等審議。
・四月中に、学会の開催法、テーマなどに関して企画委員としてアンケートをおこなう。

事務局からの連絡

1 会費納入のお願い

一九九六年度分までの会費を納入されていない方には、振替用紙を同封しました。封筒の住所ラベルの下に納入年度が記載されていますので、振込をお願いいたします。年会費は三千元です。なお、ラベルに記載された会費は四月二二日現在となっております。

2 本年秋の研究大会について

日時 一〇月一九日・二〇日

場所 別府大学

テーマ イエ・クニと女性祭祀

なお、第一日(一九日)にテーマ報告とシンポジウム、第二日に国東半島を中心とする見学バス旅行を予定しています。このため自由報告はおこないません。

3 『事典家族』購入の件

すでに御案内をしておりますが、本学会の十周年記念事業として総力をあげて取組みました『事典家族』が二月に刊行されました。購入を御希望される方は、次の要領でお申し込みください。

① 事典項目の執筆者は、直接弘文堂へ申込んでください。

② 会員で非執筆者は、二割引きの会員価格で購入できます。過日事務局よりお送りし

ました専用振込用紙での振込みをお願いいたします。会員価格による購入期日は四月三十日までとなっておりますが、多少の融通はききそうですので、できるだけお早めにご手続きをしてください。

4 シリーズ比較家族購入について

三月に早大出版部より、学会の成果をまとめたシリーズ比較家族が刊行されました。今回刊行されたのは、五巻『家族と地域社会』、六巻『家・屋敷地と霊・呪術』です。近々四巻『家と教育』も刊行される予定です。いずれも会員価格で二割引きとなりますので、購入を希望される会員は、直接早大出版部へ申込んでください。すでにお送りしてあります出版部の往復葉書をご利用ください。

5 住所・所属等の変更について

住所・電話番号・所属などに変更がございましたら、左記宛ご連絡ください。

連絡先 牧田 勲

理事会議事録

日時 一九九五年一〇月一九日
場所 マリアックスホテル

1 新入会員の紹介 承認(別紙参照)

2 新役員体制の選出

会長 井ヶ田良治

副会長 田中真砂子

会計監査 田端 泰子

顧問 住谷 一彦

林 由紀子

大竹 秀男

江守 五夫

3 新理事の役割分担・事務局体制について

企画委員会 委員長 有地 亨

編集委員会(シリーズ) 委員長 飯沼 賢司

渉外委員会 委員長 正岡 寛司

事務責任者 高木 侃

委員 長 吉野 晃

委員 長 山中永之佑

事務責任者 森 謙二

庶務委員会 委員長 牧田 勲

以上四つの委員会をおく。

比較家族史学会役員一覧

氏名	役職	役割	所属	専門1
永原 慶二	顧問	-----	一橋大学/和光大学	日本中世史
大竹 秀男	顧問	-----	神戸大学	日本法制史
江守 五夫	顧問	-----	東京家政大学	法社会学
井ヶ田良治	理事	会長	同志社大学法学部	日本法制史
田中真砂子	理事	副会長	お茶の水女子大学	文化人類学
田端 泰子	理事	副会長	京都橘女子大学	日本中世社会 経済史
有地 亨	理事	企画委員長	聖心女子大学	家族法
飯沼 賢司	理事	企画委員(事務責任者)	別府大学	日本中世史
橋本祥之助	理事	企画委員	東京大学社会科学研究所	民法
岩本 山輝	理事	企画委員	東北学院大学	日本経済史
上野千鶴子	理事	企画委員	東京大学	社会学
植野 弘子	理事	編集委員(雑誌)	茨城大学	社会人類学
老川 寛	理事	企画委員	明治学院大学社会学部	家族社会学
大藤 修	理事	企画委員	東北大学	日本近世史
奥山 恭子	理事	編集委員(雑誌)	帝京大学	家族法
鎌田 浩	理事	企画副委員長	専修大学法学部	日本法制史
國力 敬司	理事	庶務委員(東北担当)	山形大学人文学部	現代経済史
栗原 弘	理事	庶務委員(会長秘書)	同志社大学	平安時代家族 史・女性史
孝本 貫	理事	渉外委員	明治大学商学部	社会学
清水 浩昭	理事	編集委員(シリーズ)	日本大学	家族社会学
白石 玲子	理事	庶務委員(シリーズ)	関西大学	日本近代法史
高木 侃	理事	編集委員(雑誌・事務責任者)	関西短期大学	日本法制史
崔 吉城	理事	企画委員	広島大学	文化人類学
利谷 信隆	理事	渉外委員(学術会議)	お茶の水女子大学	法社会学
福田アジオ	理事	企画委員	新潟大学	日本民俗学
藤藤 早苗	理事	編集委員(雑誌)	聖徳大学	日本古代史
藤井 正雄	理事	企画委員	大正大学文学部	宗教社会学
牧田 勲	理事	庶務委員(会計担当)	摂南大学	日本法制史
正岡 寛司	理事	編集(シリーズ)委員長	早稲田大学	社会学
三成 英保	理事	庶務委員/編集委員(雑誌)	摂南大学	西洋法制史
森 謙二	理事	渉外委員(事務責任者)/庶務委員(関東)	シオン短期大学	法社会学
八木 透	理事	庶務委員(会報担当)	佛教大学文学部	日本民俗学
山田 昌弘	理事	庶務委員(関東担当)/編集委員(雑誌)	東京学芸大学	社会学
山中永之佑	理事	渉外委員長(学術会議)	追手門学院大学	日本近代法論
湯沢 隆彦	理事	企画委員	お茶の水女子大学	家族法
吉野 晃	理事	編集(雑誌)委員長	東京学芸大学	社会人類学
渡邊 欣雄	理事	企画委員	東京都立大学人文学部	社会人類学
渡邊 吉利	理事	企画委員	厚生省人口問題研究所	人口分析
住谷 一彦	会計監査	-----	東京国際大学	社会思想史・ 歴史民族学
林 由紀子	会計監査	-----	愛知女子短期大学	日本法制史

・会員住所録の作成について
 会員住所録・所属の変更・新入会員の増加により、現行住所録が実態にあわないため新名簿を作成する。住所・所属を確定するため、アンケートのカードを送る。
 (四月に企画委員会のアンケートと同時に実施する)

- 1 新会長の承認
- 2 新役員の報告
- 3 『事典家族』刊行について報告
- 4 『比較家族史研究』刊行について報告
- 5 次回研究大会について

総会議事録

日時 一九九五年一〇月二〇日
 場所 福岡市女性センター アミカス

新入会員

大川 由美

女性史

木下 英司

中国農村家族研究

岸田 史生

民俗学

寺岡 聖豪

福岡教育大学

教育学

田中 弘子

生

活科学

李 末善

社会福祉法学

西川 祐子

女性史・近代文学

重久 幸子

日本女性史・日本経済史

西嶋 友子

日本

女性史

春日キスヨ

(一九九五年一〇月一九日承認)

社会学

正保 正恵

教育史・家政史・家政学史
若生 祐司

家庭科

芝 紘子

石井 眞子

ドイツ近現代史

朝倉 敏夫

住所・所属等変更

小池 誠

蕭 紅燕

(郵便番号変更)

井上 和枝

杉田 孝夫

金子 幸子

野村 育世

名古屋短期大学

大島 新一

青柳 和身

嵯峨崎満寿美

木脇奈智子

重久 幸子

荒井 和美

羽衣学園大学

斉藤 薫

森田 ルミ(旧姓 森本)

会員通信

- ・栗原 弘『高群逸枝の婚姻女性史像の研究』
高科書店 八二四〇円 一九九四年九月三〇
日刊
- ・上村 正名『村落社会の史的研究』東京堂出
版 八八〇〇円 一九九六年二月刊
- ・大口勇次郎『女性のいる近世』勁草書房
二八八四円 一九九五年一〇月刊
- ・田端 泰子『女人政治の中世』講談社現代新
書 六五〇円 一九九六年三月刊
- ・大藤 修『近世農民と家・村・国家』吉川
弘文堂 八二四〇円 一九九六年二月刊

◇この欄では会員の著作(単行本)を紹介して
います。『比較家族史研究』の書評、文献紹介
の資料にもなりますので、事務局までお知らせ
願えればと存じます。